

令和 6 年度京都支部事業実施報告

1. 令和 6 年度京都支部重点事業実施結果 … P 1
2. 令和 6 年度京都支部 K P I 達成状況 … P 2 ～ P 1 5
3. 支部保険者機能強化予算の策定スケジュール … P 1 6

令和 7 年 7 月 1 8 日
令和 7 年度 第 1 回評議会



1. 令和6年度京都支部重点事業実施結果

※評価は、K P I の達成度合いを
3段階（◎○△）で表示

◎：完全達成 ○：概ね達成 △：未達成

項目	評価		頁	担当 グループ
	5年度	6年度		
1. サービス水準の向上	○	◎	3	業務グループ
2. レセプト点検の精度向上	○	○	5	レセプト グループ
3. 債権管理・回収と返納金債権発生防止の強化	△	○	6	
4. 特定健診実施率・事業者健診データ取得率の向上	○	△	8	保健 グループ
5. 特定保健指導の実施率及び質の向上	△	○	9	
6. 重症化予防対策の推進	△	◎	10	
7. コラボヘルス（健康経営）の推進	◎	◎	12	企画総務 グループ
8. 広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進	◎	◎	13	
9. 医療資源の適正使用	◎	◎	14	
10. 費用対効果を踏まえたコスト削減等	◎	◎	15	

業務グループ

1. サービス水準の向上

青字：令和5年度からの変更点

令和6年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
①サービススタンダードの達成状況を100%とする	① <u>100%</u> サービススタンダードの達成状況を100%とする ※全支部一律に設定	評価 ◎ ① 100% (全国47支部達成 全国平均100%) ② 95.0% (全国 22位 全国平均 95.8%)
②現金給付等の申請に係る郵送化率を対前年度以上とする	② <u>94.6%以上</u> 現金給付等の申請に係る郵送化率を対前年度以上とする ※全支部一律に設定	
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
①100% (全国44支部達成：99.9%)	① 99.99% (全国44支部達成：99.9%)	① 100% (全国44支部達成：99.9%)
②94.7% (全国25位)	② 94.5% (全国27位)	② 94.6% (全国22位)
令和6年度実績・評価		令和7年度の事業展開
① 職員のスキル多能化を進め、申請書の前捌き及び確認業務における一斉処理を実現するとともに、システムの自動審査機能を有効に活用するために申請書の記載方法について周知・広報することにより事務処理の効率化を推進し、サービススタンダード対象の申請書において、受付から給付までの所要日数が4.77日（全国平均 5.63日）と、高い水準でサービスを提供することができた。 ② ホームページやメールマガジン等で広報するとともに、電話での案内時にも郵送での手続きを推奨することで取り組みを実施することにより郵送化率を前年度以上とする目標数値を達成することができた。		① 今年度より「平均所要日数を7日以内」とする新たなKPIが示されたことから、引き続き、少数精鋭による事務処理体制の構築を目的として、業務効率化に向けた取り組みを推進するとともに、徹底した進捗管理を行うことで、高水準のサービス提供に努める。また、令和8年1月より開始される電子申請における情報を積極的に周知・広報することで、新たな申請方法の円滑な導入を図る。 ② 引き続き、周知・広報活動及び加入者からの問い合わせの際に、郵送での手続き案内を積極的に実施することにより、郵送化率向上を目指す。また、令和8年1月より開始される電子申請について情報を周知・広報し、利便性の向上に訴求することで、お客様の積極的な利用を促す。

レセプトグループ

2. レセプト点検の精度向上

青字：令和5年度からの変更点

令和6年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
①協会のレセプト点検の査定率（※）について 前年度以上とする （※）査定率 = $\frac{\text{レセプト点検により査定（減額）した額}}{\text{協会けんぽの医療費総額}}$ ②協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの 査定額を対前年度以上とする	① 0.141%以上 協会のレセプト点検の査定率について 前年度以上とする ※全支部一律に設定 ② 6,822円以上 協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの 査定額を対前年度以上とする ※全支部一律に設定	評価 ○ ① 協会 0.116%（全国29位） ② 9,359円（全国21位）
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
① 合計 0.354%（全国17位） 基金 0.269%（全国8位） 協会 0.085%（全国29位） ② 6,081円（全国22位）	① 合計 0.368%（全国13位） 基金 0.264%（全国6位） 協会 0.103%（全国27位） ② 7,146円（全国18位）	① 合計 0.436%（全国14位） 基金 0.294%（全国8位） 協会 0.141%（全国29位） ② 6,822円（全国33位）
令和6年度実績・評価		令和7年度の事業展開
①診療報酬改定内容に係る本部や支部内の研修を通じて点検員の知識の習得や自動点検マスタのメンテナンスによる効率的なシステム点検の推進、査定事例の分析等による査定金額の向上を図ったが、査定率は前年度から0.025ポイント減少、査定金額についても1億6千万円となり、KPIは達成しなかった。 ②レセプト1件当たりの査定額は、行動計画に基づき内容点検効果の高いレセプト（高点数レセプト等）を優先的かつ重点的に審査したことにより、前年度から2,537円上昇し、KPIを達成した。		● 行動計画に基づき、引き続き内容点検効果の高いレセプト（高点数レセプト等）を優先的かつ重点的に審査することにより、査定率の向上を図るとともに、システムによる自動点検を最大限に活用し効果的かつ効率的なレセプト点検を推進する。 ● 協会他支部と連携した研修や勉強会を通じて点検員のスキルアップを図る。また、支部内においても点検員間の指導や情報共有を活発に行うことにより、点検員全員が高額査定を獲得できるスキルを身につける。

3. 債権管理・回収と返納金債権発生防止の強化

青字：令和5年度からの変更点

令和6年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
① 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の健康保険証回収率を前年度以上とする。 ※マイナンバーカードと健康保険証の一体化（健康保険証の廃止）が行われるまでの取組とする ②返納金債権（診療報酬返還金（不当請求）を除く。）の回収率を前年度以上とする	① 83.69%以上 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を対前年度以上とする ※全支部一律に設定 ② 74.36%以上 返納金債権（診療報酬返還金（不当請求）を除く。）の回収率を対前年度以上とする ※全支部一律に設定	評価 ○ ① 合計：81.58% （全国 39位 全国平均 81.36%） 一般：81.44% （全国 39位 全国平均 81.17%） 任継：84.35% （全国 39位 全国平均 86.27%） ② 78.03% （全国 14位 全国平均 66.20%）
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
①合計：85.21%（全国38位 全国84.11%） 一般：85.40%（全国84.20%） 任継：81.10%（全国81.70%） ②63.80%（全国27位）	①合計：87.56%（全国38位 全86.27%） 一般：87.70%（全国86.36%） 任継：84.04%（全国83.51%） ②66.78%（全国20位）	①合計：83.69%（全国38位 全国82.10%） 一般：83.66%（全国82.01%） 任継：84.54%（全国84.16%） ②61.37%（全国25位）
令和6年度実績・評価		令和7年度の事業展開
① 保険証回収率は、文書による早期の返納催告や未返納者の多い事業所への電話催告、日本年金機構と連携した保険証の適正使用の啓発等を実施して回収率の向上を図ったが、前年度を2.11%下回り、KPIは達成しなかった。 ② 返納金回収率は、保険者間調整の推進や弁護士名催告の拡大、法的手続の実施等により債務者との接触を図り、債権回収率の向上に結びつけたことにより、前年度を3.67%上回りKPIを達成した。		① 廃止 ② 債権回収フローに沿って、債務者の状況に応じた効果的な催告を適切に実施していくことで、接触率の向上を図るとともに、高額債務者に対する保険者間調整の積極的な提出勧奨や弁護士名催告及び赤色封筒催告等の活用を通じて債権回収率の向上を図る。また、無反応者や約束不履行者に対しては、内容証明郵便催告や就業場所催告、支払督促等の法的手続を実施して粘り強く債権の回収を図る。

保健グループ

4. 特定健診実施率・事業者健診データ取得率の向上

令和6年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
①生活習慣病予防健診実施率を61.7%以上とする ②事業者健診データ取得率を8.8%以上とする ③被扶養者の特定健診受診率を30.3%以上とする	① <u>68.8%以上</u> 生活習慣病予防健診実施率を68.8%以上とする ※支部ごとに設定 ② <u>7.3%以上</u> 事業者健診データ取得率を7.3%以上とする ※支部ごとに設定 ③ <u>31.9%以上</u> 被扶養者の特定健診受診率を31.9%以上とする ※支部ごとに設定	① 66.3% (全国10位) 評価 △ ② 5.6% (全国39位) ③ 31.8% (全国15位)
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
①61.3% (全国15位) ② 6.0% (全国38位) ③27.1% (全国21位)	①64.7% (全国16位) ② 6.1% (全国40位) ③29.2% (全国15位)	①66.0% (全国19位) ② 5.5% (全国40位) ③31.9% (全国10位)
令和6年度実績・評価		令和7年度の事業展開
① 実施機関1増、GISを活用したハガキによる個人勧奨(35会場15万5千件)、付加健診対象者等へのマンガ掲載DM、新規適用事業所等への電話による受診勧奨、加えて業態を絞り勧奨実施。自己負担額が軽減され昨年度より実施率を若干伸ばした。 ② 医療業や大規模事業所への提供依頼や、健診機関への定期的なデータ提出の呼びかけが取得件数の増加に繋がった。その結果、事業所からの取得件数は前年度を上回った。 ③ 会場費補助事業による新たな会場や地域での集団健診の実施(10会場)、GISを活用したハガキによる勧奨(99会場16万件)、市町村がん検診との同時実施DM勧奨の連携自治体拡大等(既存4市に加え新たに久御山町でも実施)により実施率を伸ばし、ほぼ目標達成した。		① 既存事業を着実に進め、DM作成時には昨年度に引き続き自己負担額軽減と付加健診対象年齢拡大を最大限PRする。また受診率の低い業態や新規適用事業所への文書及び電話勧奨と、健診機関の予約空き状況DM等、効果的な勧奨を意識し実施率目標達成を目指す。また、令和8年度から実施する人間ドック健診に対する補助の創設を中核とする「保健事業の一層の推進」について準備を進める。 ② 受診先照会により事業所への速やかな提供依頼と特定保健指導の実施に繋げるため、健診機関や委託業者との連携を強化し、健診実施後の確実な提供および早期提供を定期的に依頼していく。また、労働局や業界団体へ働きかけ、業態別のアプローチ等支部勧奨の強化を図る。 ③ 既存事業を着実に進めるとともに、会場費補助事業のリニューアルや骨密度測定付特定健診事業の参加機関拡大により実施率目標達成を目指す。また、健康宣言事業所あてに特定健診の受診勧奨を新たに実施。

5. 特定保健指導の実施率及び質の向上

令和6年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
①被保険者の特定保健指導の実施率を21.5%以上とする ②被扶養者の特定保健指導の実施率を18.1%以上とする	① <u>19.1%以上</u> 被保険者特定保健指導の実施率を33.2%以上とする ※支部ごとに設定 ② <u>14.6%以上</u> 被扶養者特定保健指導の実施率を18.3%とする ※支部ごとに設定	評価 ○ ① 18.9% (全国31位) ② 17.6% (全国20位)
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
①17.6% ② 9.2%	①16.9% ②13.5%	①18.4% ②15.1%
令和6年度実績・評価		令和7年度の事業展開
- 委託機関と連携を強化し、事業所へのアプローチを直営、遠隔面談委託機関実施等、事業所のニーズに合った指導方法を提示し実施率向上を図った。また、健診機関との連携により初回面談数を伸ばし、令和7年3月分では昨年度を上回り全国順位を31位まで上昇させた。 - 事業者健診受診者に対する保健指導を引き続き事業所へ案内し利用率を増加を図った。 - 大規模且つ初回面談実施率の低い健診機関と戦略的な打ち合わせを定期的に実施。また、受入率の低い大規模事業所を訪問を実施した。 - 被扶養者の集団健診会場で当日面談実施にて実施数を増加させた。また、利用券発送時の勧奨DMを工夫し、測定器を活用した呼び出し型保健指導を実施するなど実施率向上に取り組んだ結果、被扶養者のKPIを達成見込み。		- 第4期特定健診・特定保健指導において「評価体系の見直し」に基づく成果を重視した特定保健指導の推進。 - 昨年度から訪問案内の変更に応じ、漏れのない抽出を意識し利用案内率を更に高める。 - 支部での初回受入率を強化すべく、電話勧奨や大規模事業所訪問を引き続き実施し、共同利用不可事業所への働きかけや好事例の展開を図る。また外部委託専門業者も有効活用し実施率向上を目指す。 - 引き続き大規模且つ初回面談の実施率が低い健診機関と、面談件数の向上のための戦略的な打ち合わせを実施し、施設内及び検診車における初回当日面談の拡大を目指す。 - 人間ドック健診補助条件の保健指導委託契約について、広く周知し契約数の拡大に取り組む。

6. 重症化予防対策の推進

青字：令和5年度からの変更点

令和6年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合を対前年度以上とする	30.4%以上 健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合を対前年度以上とする ※全国一律に設定	評価◎ 31.4%(全国45位)
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
8.9% (全国39位)	9.3% (全国29位)	8.2% (全国38位)
令和6年度実績・評価		令和7年度の事業展開
- 令和6年度から目標値設定が「健診受診月から10ヶ月以内の医療機関受診率」へ変更となった。ホームページや事業所等を通じ広報を積極的に行い、健診後早期の受診勧奨を促し対策を講じた。その結果、昨年度を上回りKPI達成となった。 - トータルヘルスケアサポート（健診当日の面談）で5健診機関で約8,500人を実施した。当日に結果が判明する血圧について受診勧奨を必須とした。約1,500人に血圧を含めた受診勧奨を実施。 - 支部で対応した未治療者への2次勧奨及び翌年度の健診直前に再度通知する3次勧奨を実施。2次勧奨DMIは約17,000件、3次勧奨DMIは約5,200件発送した。		- 事業所訪問や宣言事業所を通じ、ポスターの配布や広報を積極的に行い、健診後早期の受診勧奨を促す。 - 引き続きトータルヘルスケアサポートの予算を確保して実施する。公募の結果7健診機関で約17,500人実施予定。 - 未治療者勧奨対象機関を拡大して実施。事業者健診、特定健診の対象者を拡大し2次勧奨DMIは20,000件。21健診機関と契約し早期受診勧奨（0次勧奨）を実施。10,000件発送予定。特にLDL高値者の反応が少ないため勧奨内容に工夫する。 - 健診機関と連携し、戦略会議等において早期受診に向けた取り組みを強化。

企画総務グループ

7. コラボヘルス（健康経営）の推進

令和6年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
健康宣言事業所数を100,000事業所以上とする	<u>1,340事業所以上</u> 健康宣言事業所数を1,340事業所以上とする <u>※支部ごとに設定</u>	評価 ◎ 1,393事業所 （参考） 健康経営優良法人2025：387社
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
健康宣言事業所数：787事業所 （参考）健康経営優良法人：274社	健康宣言事業所数：971事業所 （参考）健康経営優良法人2023：282社	健康宣言事業所数：1,116事業所 （参考）健康経営優良法人2024：323社
令和6年度実績・評価		令和7年度の事業展開
- 健康経営の効果分析に基づく「健康データブック」作成・活用。 - サポート事業（事業所カルテ、事例集、健康講座、健康測定器貸出）を活用した宣言勧奨を実施。 - 京都府・自治体・商工三団体・労働局・産業保健総合支援センターと連携したコラボヘルス推進。 - 業界団体（運輸三団体）と連携したコラボヘルスの推進。 - 取り組みが顕著な事業所と連携し、健康経営の好事例についての発信を強化。		- 宣言事業所の取組強化を図るため健診・保健指導・受診勧奨にかかるフォローアップ事業実施。 「健康データブック」の更なる活用。京都支部課題である未治療者分析を行い新たな「健康データブック」作成予定。 - サポート事業（事業所カルテ、事例集、健康講座、健康測定器貸出）を活用した宣言勧奨を実施。 - 京都府・自治体・商工三団体・労働局・産業保健総合支援センターと連携したコラボヘルス推進。 - 業界団体（運輸三団体）と連携したコラボヘルスの推進。 - 健康づくり取組の好事例を検索可能とする事例共有サイトを作成。

8. 広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進

青字：令和5年度からの変更点

令和6年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を50%以上とする	①<u>52.0%以上</u> 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を52.0%以上とする ※支部ごとに設定 ②<u>5,799社以上</u> 健康保険委員の委嘱事業所数を前年度以上とする	評価 ◎ ①52.5% (全国39位) ②5,804社 (前年度5,799社)
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
①44.6% (全国38位)	①48.4% (全国38位)	②51.8% (全国37位)
令和6年度実績・評価		令和7年度の事業展開
- KPIは達成しているが、全国的には39位と依然下位となっており、より一層の勧奨強化が必要 - 健康保険委員向けオンライン研修会を実施。 - 事業所訪問による健康保険委員・宣言事業勧奨を実施。 - 広報プロジェクトにおいて「健康経営の普及」「健康サイクル定着」に向けて特設ページの改修やWEB・SNSを活用した広報を実施。 - LINE公式アカウントによる情報発信の実施。		- 健康保険委員表彰、研修会の実施による健康保険委員活動の強化。 - 事業所訪問による、健康保険委員や健康宣言事業の勧奨実施。 6年度改修した特設ページについてターゲットに合わせた案内やページ構成を改修し、広く加入者のヘルスリテラシー向上を図る。 - LINE公式アカウントの周知・効果的な情報発信を実施。

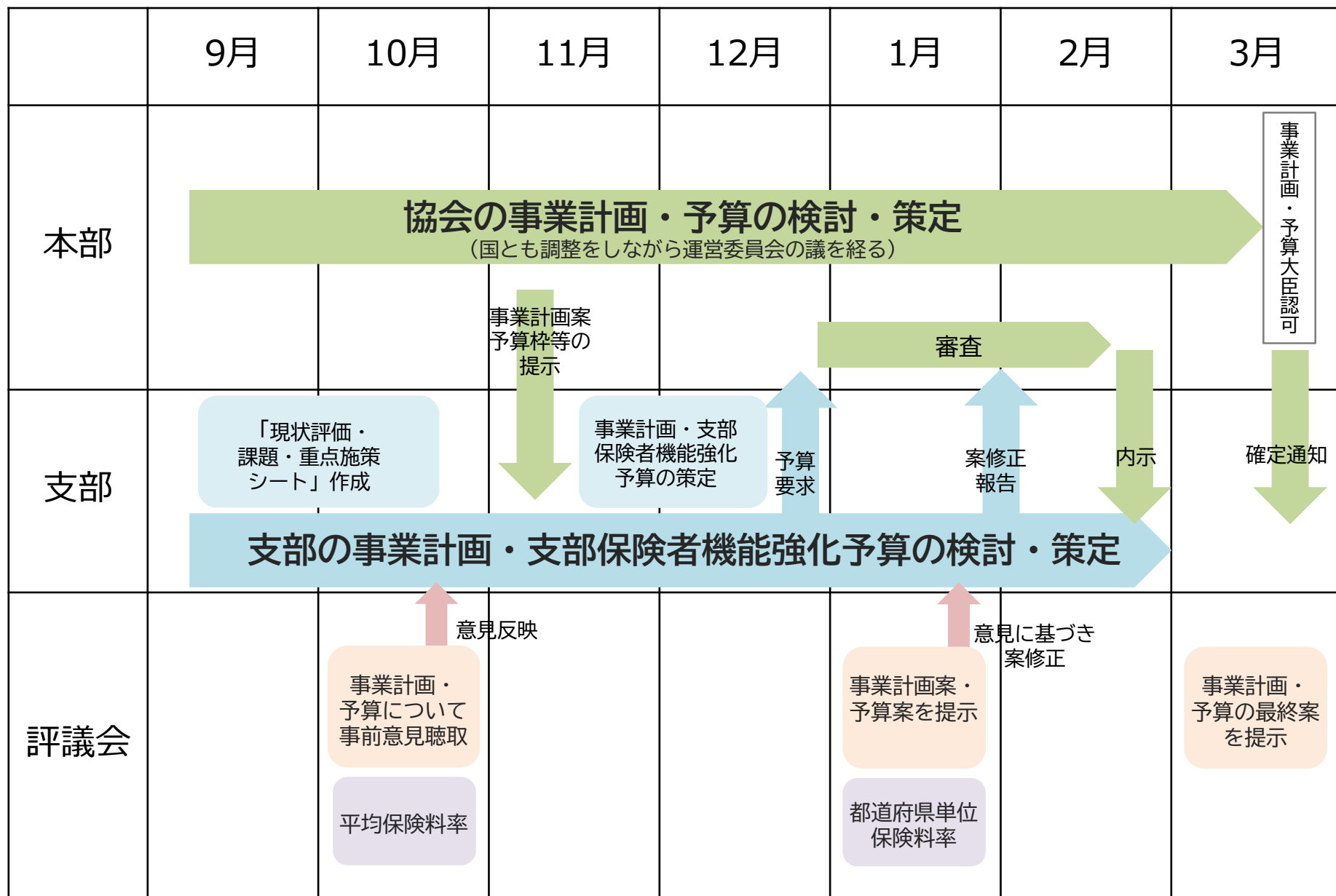
9. 医療資源の適正使用

令和6年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
ジェネリック医薬品使用割合80%という目標に向けて、年度末の目標値を支部ごとに設定する。ただし、ジェネリック医薬品使用割合が80%以上の支部については、年度末時点で対前年度以上とする	<u>80.0%以上</u> ジェネリック医薬品使用割合（*）を80.0%以上とする <u>※支部ごとに設定</u> * 医科、DPC、歯科、調剤	評価 ◎ 87.4%（全国41位） ※R7.3診療分
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
76.9%（全国43位） R4.3診療分	78.7%（全国43位） R5.3診療分	81.3%（全国43位） R6.3診療分
令和6年度実績・評価		令和7年度の事業展開
● レセプト分析により若年者や重点的に取り組む対象を明確にしたうえで支部独自の軽減額通知の実施。 ● 分析結果を活用し医療相談ダイヤルの活用などの「上手な医療のかかり方」について啓発を実施。 ● 選定療養制度周知によるジェネリック医薬品への切替促進。		● 引き続きレセプト分析によるターゲットを明確にした支部独自の軽減額通知を実施。 ● ジェネリック医薬品及びバイオ医薬品使用促進について行政機関や薬剤師会と連携のうえ実施。 ● 子ども向けの健康啓発を兼ねた「上手な医療のかかり方」について啓発を実施。

10. 費用対効果を踏まえたコスト削減等

令和6年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、15%以下とする	<u>15%以下</u> 一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、15%以下とする ※全支部一律に設定	評価 ◎ 14.3% (3/21件)
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
0.0% (全国1位)	6.7% (全国14位)	0% (全国1位)
令和6年度実績・評価		令和7年度の事業展開
可能な限り多くの事業者が参加できるよう仕様書の見直しを図り、他支部の調達情報を活用することで参加可能な事業者への声掛けを行うことで一者応札の削減を図った。		引き続き競争参加に向け事業者への声掛けを徹底することにより、多くの事業者の参加を促して競争性の確保に取り組む。

3. 評議会における支部保険者機能強化予算の策定スケジュール



※ 本部・支部の連携により、支部ごとの課題を明確に共有して課題解決を図ることを目的とした、医療費・健診情報等の分析に基づく支部ごとの現状・課題・重点施策をまとめたシート